



カタカタ通信

第47号

「ものさし鳥？」

2022年11月7日

日頃から天空の里周辺の自然を観察しています。いつもように歩いていると緑色と灰色の実をつけたツルを見かけました。カラスウリという植物に似ていますが違うようです。調べてみるとスズメウリだと分かりました。

カラスやスズメという名前がつく植物は他にもあり、カラスノエンドウやスズメノエンドウなど大きい場合はカラス、小さいとスズメの名がついています。

バードウォッチングを趣味にしている方にとって、カラスやスズメは「ものさし鳥」と言われ、大きさの見当をつける基準になります。初めて見かける鳥、わからない鳥を見かけて人に尋ねるときは、まず大きさの話をしてもらいます。スズメほどの大きさだったとか、カラスより少し大きかったなど、サイズ(*全長)がわかると種類が絞れます。



スズメウリ ウリ目 ウリ科

原野や水辺に生える山野草。夏に開花し秋に実をつける。



スズメ 14.5cm



ハシブトガラス 56cm

この「ものさし鳥」は何種類かいて、小さい方からスズメ14.5cm、ムクドリ24cm、ヒヨドリ27.5cm、キジバト33cm、カラス56cm、トビ60～65cmの順です。この6種は、よく見かけることができる鳥です。バードウォッチングを始めてみたい方は、この鳥から覚えるのも良いかもしれません。ちなみにコウノトリは、110～115cmです。

近い将来コウノトリもものさし鳥になるぐらい身近な鳥になることを夢見ています。



ムクドリ 24cm



ヒヨドリ 27.5cm



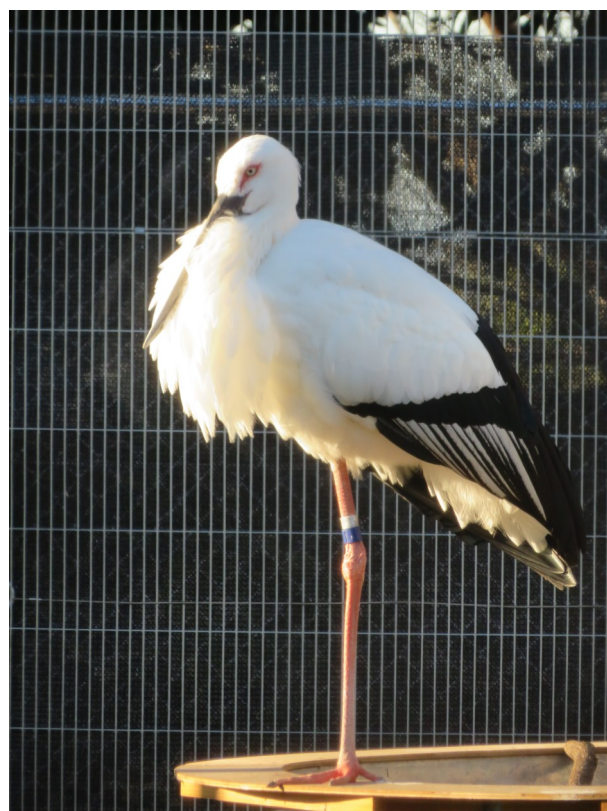
トビ 60～65cm

*全長とはクチバシの先から尾の先までのことです。

天空の里

鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：しみじい



コウノトリ 110～115cm